

CS+用 RXコード生成 e2 studio (Code Generatorプラグイン) RXコード生成支援ツール AP4 ご使用上のお願い

CS+用 RXコード生成、e2 studio (Code Generatorプラグイン) および RXコード生成支援ツール AP4 の使用上の注意事項を連絡します。

- FIFO内蔵シリアルコミュニケーションインタフェース SCIFA10に関する注意事項
対象: RX71Mグループ(144ピン以上の製品)、RX64Mグループ(144ピン以上の製品)

1. 該当製品

- CS+用 RXコード生成 V1.09.00以降
- e2 studio 4.2.0.012以降 (Code Generator プラグイン V2.1.1以降)
- RXコード生成支援ツール AP4 V1.08.00以降

2. 該当デバイス

- RXファミリ: RX71Mグループ(144ピン以上の製品)
RX64Mグループ(144ピン以上の製品)

3. 内容

FIFO内蔵シリアルコミュニケーションインタフェース SCIFA10のRXD10 および TXD10の端子設定において、以下が選択できません。

- RXD10にP86端子を設定
- TXD10にP87端子を設定

4. 回避策

以下の手順でRXD10およびTXD10の端子を設定してください。

- (1) FIFO内蔵シリアルコミュニケーションインタフェース SCIFA10の端子設定で以下を選択し、コード生成します。
 - RXD10: P81端子
 - TXD10: P82端子

注意: コード生成で、P86端子 および P87端子 に関する設定を行わないで
ください。

(2) r_cg_scifa.cにある関数 void R_SCIFA10_Create(void) を下記に従い修正
してください。なお、コード生成後は常に修正が必要です。

(a) RXD10にP86端子を設定する場合

修正前:

```
-----  
void R_SCIFA10_Create(void)  
{  
.....  
    /* Set RXD10 pin */  
    MPC.P81PFS.BYTE = 0x0AU; /* P81端子に割り付ける周辺機能を設定 */  
    PORT8.PMR.BYTE |= 0x02U; /* P81を周辺モジュールとして使用 */  
.....  
}
```

修正後:

```
-----  
void R_SCIFA10_Create(void)  
{  
.....  
    /* Set RXD10 pin */  
    MPC.P86PFS.BYTE = 0x0AU; /* P86端子に割り付ける周辺機能を設定 */  
    PORT8.PMR.BYTE |= 0x40U; /* P86を周辺モジュールとして使用 */  
.....  
}
```

(b) TXD10にP87端子を設定する場合

修正前:

```
-----  
void R_SCIFA10_Create(void)  
{  
.....  
    /* Set TXD10 pin */  
    MPC.P82PFS.BYTE = 0x0AU; /* P82端子に割り付ける周辺機能を設定 */  
    PORT8.PMR.BYTE |= 0x04U; /* P82を周辺モジュールとして使用 */  
.....  
}
```

修正後:

```
void R_SCIFA10_Create(void)
{
.....
    /* Set TXD10 pin */
    MPC.P87PFS.BYTE = 0x0AU; /* P87端子に割り付ける周辺機能を設定 */
    PORT8.PMR.BYTE |= 0x80U; /* P87を周辺モジュールとして使用 */
.....
}
```

5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。